

年 組 名前：



共選所に持ち込まれたあけぼの大豆 ー身延町伊沼



QRコード
から動画を
見られます

一方、生産者が水やりなどをした畑での生育は順調で、出荷量は昨年並みの12ト前後を見込んでいます。農家が収穫した枝豆を持ち込む「あけぼの大豆拠点施設」(同町伊沼)内の共選所では同日、JA職員らが色や形、害虫被害がないかなどを確認した上で袋詰め作業を進めた。同所の同JA中富直売所を含む県内の直売所に順次出荷する。販売は今月下旬までの予定。共選所に枝豆を持ち込んだ同町平須の深沢一範さん(75)は「愛情を注いで育てたあけぼの大豆を、多くの人に味わってもらいたい」と話していた。〈深沢一範〉

身延町特産の「あけぼの大豆」の出荷作業が8日、JA山梨みらいで始まった。あけぼの大豆は大ぶりの粒と濃厚な味わいが特徴。JA山梨みらいや町産業課によると、今年は夏場の猛暑や乾燥の影響で、一部地区では収穫量が最大5割ほど減少している。

あけぼの大豆 身延 出荷スタート

(2024年10月9日付 山梨日日新聞18面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1 あけぼの大豆の出荷作業が始まりました。あけぼの大豆の特徴を答えてください。

.....

問2 今年の出荷量は、何トンを見込んでいますか。

.....

問3 JA職員らは、何を確認してから袋詰め作業を行いますか。

.....